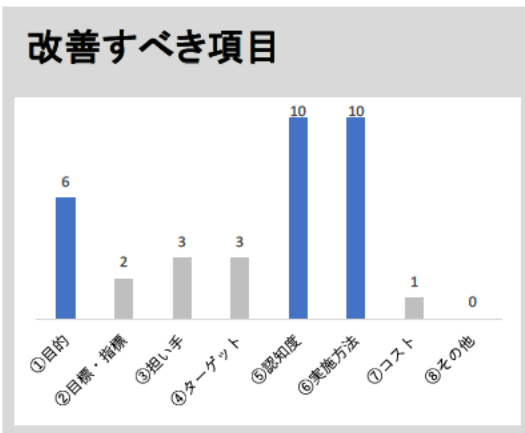


事業の名称	生涯学習センター事業	
部名	生涯学習部	課名 生涯学習センター
事業の目指すべき姿	地域における生涯学習の拠点として、様々な講座の実施や学習に関する相談、情報提供等を通じて、市民一人一人が自分に合った学習活動を進めていけるよう支援し、豊かな生涯学習社会を実現する。	

総合評価	<b>改善すべき</b>
------	--------------

各評価人の評価	よく取り組んでいる	0人
	改善すべき	8人
	大いに改善すべき	2人
	廃止すべき	0人



評価人の意見

(1) 認知度  
生涯学習センターは、市民に学習機会を提供する市の大事な公共施設である。そのため、できるだけ幅広い世代、特に若い世代に、また、生涯学習センターから離れている地域の人にも活用、認識してもらえよう、周知を適切に行ってほしい。

- 施設の用途、利用方法等、施設についての周知が不足している。周知の際には、特に生涯学習センターを知っていれば活用するであろう市民に対し、生涯学習センターの魅力を伝える必要がある。
- 生涯学習センターが町田駅周辺地域にしかないことを考慮し、生涯学習センターから離れている地域を意識した周知をする必要がある。
- 空き部屋の利用方法が伝わっていないため、効果的な周知を実施する必要がある。

(2) 目的・実施方法  
生涯学習センターは町田駅周辺に1か所、図書館は市内に8か所あることを踏まえ、地域の学習拠点である図書館との連携について、契機とらえて検討してほしい。若者からもニーズがあることを認識し、誰にとっても利用しやすい生涯学習センターとしてほしい。

- 市民のニーズを分析したうえで、講座等のサービス内容を企画する必要がある。
- 各地域で生涯学習活動ができるよう、検討する必要がある。
- 生涯学習センターの施設(部屋)貸出しについて、市民が気軽に使えるように、利便性を向上させる必要がある。
- より多くの市民に納得して利用してもらえよう、講座受講料を見直す必要がある。

(3) 担い手  
将来を担う若者の声も大事にしながら、多様化するニーズに対応するため、行政だけではなく大学、市民、民間事業者など、みんなで担っていく生涯学習センターにしてほしい。

- サービスの充実や効率化を促進するために、民間活力の活用を検討する必要がある。
- より市民ニーズに沿ったサービスを提供するため、地域の大学や市民ボランティアなどと連携する必要がある。

改善の基本的な考え方

(1) 認知度  
より多くの市民に生涯学習の機会を提供するために、生涯学習センターの所在、サービス内容、利用方法について、媒体や発信内容・方法を工夫しながら、効果的に周知を行う。

(2) 目的・実施方法  
市民のニーズを十分に把握し、地域、年代等を問わず、利用しやすい生涯学習センターとする。  
図書館との連携を検討し、実施する。

(3) 担い手  
市民や民間事業者などと連携して、ニーズに合った、よりよい生涯学習センターとなるよう、それぞれが担える部分について検討し、実施する。

事業所管課の改善に向けた具体的な取組

(1) 認知度  
①引き続き市ホームページ、広報まちだを通じて生涯学習センターの周知を行うとともに、公共施設等でチラシを配布するほか、特に若い世代に向け、SNS(Twitter)を活用した情報発信を行う。  
②市ホームページに掲載している、生涯学習センターの施設(部屋)の貸出案内や利用方法の情報が不足しているため、記載内容を見直す。  
③市ホームページに掲載している『生涯学習NAVI』※の電子版について、より多くの人が目にする機会を増やすため、他団体が発行する情報誌にPR記事を掲載するなど、新たな取組みを検討し、実施する。  
※『生涯学習NAVI』: 市内や近隣で開催される講座・イベント情報を紹介する学習情報誌

(2) 目的・実施方法  
①図書館と連携した講座の実施を検討するほか、図書館に特設コーナーを設置するなど、各図書館と相互でのPR活動を実施する。  
②市民の学習ニーズや市民が課題と感じていることを直接講座に反映させるための、市民と職員が一緒に講座を作り上げる「講座づくり★まちチャレ」の講座数を増やす。  
③身近な場所での学習機会を増やすため、地区協議会※と連携し、その地域のニーズに適した講座を開催する。  
※地区協議会: 市内全10地区にある、地域課題の解決や、地域の魅力向上に主体性を持って取り組むネットワーク組織  
④生涯学習センター内のフリースペースである「団体活動コーナー」の設備、運用を見直し、個人学習者にも利用しやすい環境を整備する。

(3) 担い手  
①町田市5か年計画17-21に掲げられた行政経営改革プランに基づき、生涯学習センターの役割や事業内容を改めて検討したうえで、民間活力などの効率的、効果的な管理運営手法を検討し、方向性を決定する。  
②「生涯学習ボランティアバンク」※について、市内の保育園や幼稚園、町内会・自治会などに積極的に周知し、制度に登録している市民が活躍する場を増やす。  
※「生涯学習ボランティアバンク」: 自身の知識や経験、特技などを役立てたい市民等と、学習活動のサポートを必要としている市民等との橋渡しを行う制度

目標

指標	現状値(時点)	目標値(時点)
①Twitter発信回数(年間)	①45回(2020年3月)※2019年10月アカウント開設	①100回(2021年3月)
②ホームページの見直し	②—(2019年11月)	②実施(2020年3月)
③新規取組実施数(年間)	③3件(2020年3月)	③5件(2021年3月)

指標	現状値(時点)	目標値(時点)
①各図書館との相互PR件数(年間)	①—(2020年3月)	①9件(2021年3月)
②まちチャレで実施する講座数(年間)	②5講座(2020年3月)	②6講座(2021年3月)
③連携した地区協議会数(累計)	③1/10地区(2020年3月)	③3/10地区(2022年3月)
④環境整備	④—(2020年3月)	④実施(2021年3月)

指標	現状値(時点)	目標値(時点)
①あり方の見直し	①—(2020年3月)	①方針決定(2022年3月)
②生涯学習ボランティアバンクの利用件数(年間)	②21件(2020年3月)	②25件(2022年3月)

結果(概要)

実績値(時点)	取組内容
①120回(2021年3月)【改善済】	①Twitterで、講座案内や施設利用の際の注意事項などを発信
②実施(2020年3月)【改善済】	②市ホームページの掲載内容について、貸出施設の詳細が伝わるよう修正
③7件(2021年3月)【改善済】	③『生涯学習NAVI』の電子版にリンクするQRコードを記載したPRカードの配布や、東日本タクシーが提供する車内広告『町トレ』への生涯学習センターの事業等の掲載など、新たなPRを実施

実績値(時点)	取組内容
①9件(2021年3月)【改善済】	①図書館を活用した学習の仕方学ぶ講座の実施や、講座内容関連書籍を集めた特設コーナーの図書館との相互PRを実施
②6講座(2021年3月)【改善済】	②市民団体発案の「身近な外国人と伝わる日本語でコミュニケーション」などの講座を実施
③3/10地区(2022年3月)【改善済】	③3地区の協議会と連携し、要望があった講座・公演などを実施
④実施(2020年4月)【改善済】	④個人学習専用のスペースを新設し、運用を開始

実績値(時点)	取組内容
①方針決定(2022年2月)【改善済】	①若者層や働く世代向けの取組の強化、段階的な民間活力の導入などを掲げた「町田市生涯学習センターあり方見直し方針」を策定
②8件(2022年3月)【改善進行中】	②学校のボランティアコーディネーター会議での事業紹介などのPRを行い、「生涯学習ボランティアバンク」制度を周知



事業の名称	生涯学習センター事業		
部名	生涯学習部	課名	生涯学習センター

項目	結果(詳細)			
	2020年度		2021年度	

① 認知度	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	①120回 (2021年3月) 【改善済】	①より多くの市民に生涯学習センターの所在や事業等を知ってもらうため、市ホームページや広報まちだ、チラシ等により、周知を行った。また、特に若い世代に向けて、Twitterで、講座の案内や施設利用の際の注意事項など、年間120回発信した。	①120回 (2021年3月) 【改善済】	①2020年度で改善済
②実施 (2020年3月) 【改善済】	②市ホームページの掲載内容について、貸出施設の画像や貸出備品一覧を掲載するとともに、施設の使用申込方法について加筆し、町田市施設案内予約システムへのリンクを作成するなど、貸出施設の詳細が伝わるよう修正を行った。【2019年度改善済】	②実施 (2020年3月) 【改善済】	②2020年度で改善済	
③7件 (2021年3月) 【改善済】	③『生涯学習NAVI』の電子版等について、より多くの人が目にする機会を増やすため、以下により新たなPRを7件行った。 ・さがまちコンソーシアムのホームページ及び情報誌に、『生涯学習NAVI』及びその電子版の発行を告知する記事を掲載 ・市ホームページの『生涯学習NAVI』の電子版にリンクするQRコードを記載したPRカードを、図書館、市民フォーラム、ぽっぽ町田、中心市街地の民間コーヒースト等で配布 ・各市民センター・図書館等における『生涯学習NAVI』の配布場所に、電子版利用促進のポスターとPOPを設置 ・Twitterを活用して『生涯学習NAVI』の電子版をPR ・教育広報紙「まちだの教育」に、オンライン学習の特集記事を掲載し、『生涯学習NAVI』の電子版を紹介 ・町田市立図書館ホームページに、『生涯学習NAVI』の電子版を掲載している市ホームページのバナーリンクを作成 ・東日本タクシー(株)が提供する車内広告『町トレ』※に、町田市の市政情報の一つとして、生涯学習センターの事業及び『生涯学習NAVI』電子版の紹介広告を掲載 ※町トレ:町田市の飲食店や生活情報を発信する東日本タクシーの情報サービス。タクシーの後部座席に向けた「タクシービジョン」と、「スマホ版Webサイト」に掲載される。	③7件 (2021年3月) 【改善済】	③2020年度で改善済	

② 目的・実施方法	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	①9件 (2021年3月) 【改善済】	①各図書館との相互でのPR活動を9件実施した。 ・高齢者を対象とした通年講座「ことぶき大学」において、中央図書館と連携し、図書館を活用した学習の仕方を学ぶ講座「まちだ探・探ゼミナール」を実施 ・平和祈念事業では中央図書館に、ことぶき大学「音楽・堺地区コース」では堺図書館に、鶴川地区協議会共催事業では鶴川駅前図書館に、それぞれ講座内容に関連した書籍を集めた特設コーナーを設置(3件) ・図書館振興財団と連携し、「図書館を使った調べる学習」をテーマとした特別講座「いきいきシニアは学びにあり」を実施 ・町田市立図書館ホームページに、『生涯学習NAVI』の電子版を掲載している市ホームページのバナーリンクを作成 ・市ホームページの生涯学習センターのオンライン学習ページに、図書館のオンライン学習、町田市民文学館のYouTube展示会、文学作品紹介情報のリンクを掲載(3件)	①9件 (2021年3月) 【改善済】	①2020年度で改善済
②6講座 (2021年3月) 【改善済】	②市民と職員が一緒に講座を作り上げる「講座づくり★まちチャレ」について、新型コロナウイルス感染症への対策を講じたうえで、市民団体発案の「身近な外国人と伝わる日本語でコミュニケーション」、「自分に素直にはたらくを考えよう！～子育てしながら、町田で暮らしながら、はたらく～」、「だれにでも「まなびの場」を！～自主夜間中学ってなに?」、「誰でも一緒に楽しめるスポーツ～パラスポーツ&フラダンスを体験して共生社会を考えよう～」、「新型コロナに負けるな！外出を地域で支えよう」、「発達が気になる子どもの可能性～からだへのアプローチが発達改善の鍵！～」の6講座を実施した。	②6講座 (2021年3月) 【改善済】	②2020年度で改善済	
③1/10地区 (2021年3月) 【改善進行中】	③鶴川地区協議会と連携し、同協議会が地域交流の場として開催している「3水スマイルラウンジ」において、まなびの広場を担当し、「鶴川のいきもの」、「昔の道具で想い出語り」、「村野常右衛門家写真の世界」という地域に関連した講座を3回実施した。また、玉川学園・南大谷地区協議会及び高ヶ坂・成瀬地区協議会との連携による講座開催については、準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施時期を延期することとした。2021年度の実施に向けて、引き続き協議会との調整を進めていく。	③3/10地区 (2022年3月) 【改善済】	③3地区の協議会との連携事業を実施した。 ・鶴川地区協議会が地域交流の場として開催している「3水スマイルラウンジ」において、まなびの広場を担当し、「フットパスで鶴川の魅力を再発見!」、「覗いてみよう!鶴川の自然」、「豪放磊落(ごうほうらいらく)な民権家 石阪昌孝と鶴川」など、地域に関連した講座を5回実施した。 ・玉川学園・南大谷地区協議会と連携し、夏の平和イベントとして、広島原爆被爆をテーマとした歌と語りの公演を実施した。 ・木曾地区協議会において要望のあったスマートフォンの基本的な操作方法等を学べる「出張!なんでもスマホ相談室」を実施した。	
④実施 (2020年4月) 【改善済】	④生涯学習センター内のフリースペースである「団体活動コーナー」の一部に、個人学習専用のスペースを新設し、2020年4月から運用を開始した。	④実施 (2020年4月) 【改善済】	④2020年度で改善済	

事業の名称		生涯学習センター事業	
部名	生涯学習部	課名	生涯学習センター

項目	結果(詳細)			
	2020年度		2021年度	

項目	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	(3)担い手	<p>①町田市生涯学習審議会へ諮問 (2021年3月) 【改善進行中】</p> <p>②3件 (2021年3月) 【改善進行中】</p>	<p>①生涯学習センターの目指すべき姿や効率的・効果的な管理運営手法について、2021年1月に町田市生涯学習審議会へ諮問を行った。審議会からの答申を踏まえ、2021年度中に「町田市生涯学習センターのあり方」について方針を策定する予定である。</p> <p>②「生涯学習ボランティアバンク」制度を広く市民に周知するため、広報まちだへの掲載、各町内会・自治会へのPRチラシの配布、市ホームページやTwitterによる情報発信、市内幼稚園・保育園へのメール配信などを行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で人の集まるイベントが自粛されたこともあり、利用は3件に留まった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの減少などで、利用の促進が難しい状況ではあるが、制度の周知に努めるとともに、学校等の地域と連携を深め、制度の活用を図っていく。</p>	<p>①方針決定 (2022年2月) 【改善済】</p> <p>②8件 (2022年3月) 【改善進行中】</p>